

平成27年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
川西町	川西町立川西小学校

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

1. 児童の登下校時の安全を地域ボランティアの活用により確保するとともに、児童と地域双方の社会的関係性を醸成する。
2. 放課後・土曜日等に児童の居場所づくりの中で、学習等の支援を行いつつ、学習習慣と規範性を養う。

2 特徴的な取組の概要

1. 地域の学校支援活動

- ・地域ボランティアにより組織された「川西町見守り隊」により、登下校時に児童の見守りを行う。登録されているボランティア人数は約350名。
- ・3年の「校区巡り」学習や、6年の農業体験（地域の伝統野菜である「結崎ネブカ」の栽培・収穫体験）等に地域で実際に活動されている方からの説明を受けている。
- ・4年の「能楽体験」の際に、地域サークルの方に着付け等の支援を受けている。

2. 放課後子ども教室等（川西教室）の開講

月曜の放課後に和太鼓、土曜日の日中に合唱・お琴・能楽（新設）の各教室を、川西町中央公民館で開講（各教室とも年間22～33日程度）。主に芸術分野の体験を通して、規範性を養う。登録児童数は100名あまりを数える。

今年度2学期より、水曜放課後に「放課後子ども勉強会」を小学校に隣接の川西文化会館で開講。学校外での学習習慣の定着をはかる。参加児童数は60～70名。

学習支援員は広報等で募集を行い、地域の30代から70代の方十数名が見守り等に参加していただいている。